

一般質問



安江
議員

○鷹島モンゴル村について

質 急な指定管理撤退は結果として、休村することとなりお詫び申し上げます、で済ませてはいけません。なぜこういう結果になったのか、原因がどこにあるのかを市民に明らかにするべきです。この点を抜きにして今後の検討を行うのは無理があると考えます。これまでの事業経費について伺います。

商工観光課長 平成5年開設当時の経費は、設備と周辺施設の整備が約25億5千万円、委託料及び指定管理料に約9億6千万円、借地料に約4千400万円の合計約35億5千万円となります。

質 これまでの事業について、どのように総括されておりますか。

商工観光課長 鷹島肥前大橋架橋の大きな要因となったほか観光客への地元食材による飲食の提供やお土産品の販売、地元雇用への効果があったと評価しています。

質 撤退となった経過と原因をどう考えておられますか。

商工観光課長 集客率低迷が経営状況悪化の要因と思われます。来場につながる魅力が不足していたと考えられます。

質 集客数が計画値の4割で経過していた点について、この原因を協定書に基づいて指定管理者は改善計画を出されていたのか。

商工観光課長 改善計画等については、期間が短かったこともあり提出には至っておりませんが、この間、協議をして誘客を図る対策は行っておりしました。

質 基本協定には損害賠償等の規定があるが、どのように考えているか。

商工観光課長 施設自体は市の所有であるため現時点では損害はないと考えます。

質 運営がうまくいかなかった場合の責任が協定に明示されてなかったことについて、見解はどうか。

商工観光課長 指定管理期間の途中で業務を終了することは想定しておらず、非常に残念な結果となりました。今回の経過を十分に踏まえて今後の対策に生かしたいと思っております。

○福岡つばき荘問題について

質 福岡高裁の判決により、市は賠償金の支払いを行い、市長は自ら減俸を行ったが、敗訴した大きな原因である職員の不正確かつ誤った説明をした点についてのコメントがない不問に付されているが、見解を伺いたい。

市長 裁判は結審しており、判決の結果について真摯に受けとめております。再発防止策を定めて、現在、適正な事務執行に努めております。

一般質問



嶋田
議員

○伊万里松浦病院の移転について

質 伊万里松浦病院移転の話が出て以降、松浦市へぜひ移転してほしいと多くの市民皆さまの署名活動や要望書の提出があったところですが、理事者側としても上京され、独立行政法人地域医療機能推進機構東京本部を訪問されている。先方とお話しされた結果がどうであったのか報告頂きたい。

副市長 私と担当課長で訪問し、移転の基本的な考えが変わっていないかどうか、進展が見られない理由をお尋ねしました。結果として移転の意向は変わっていないことが確認できたとともに、本市を含む県北地域の病床数が過剰地域であるため県による特例病床の許可を得なければ次の段階へ進めず、検討をしている状況とのことでした。

質 核となる病院を本市に誘致するということは、20年後、30年後のしっかりとした医療体制の確立につながると思う。移転誘致に対する市長の考えを伺う。

市長 今後の松浦市における地域医療の実状を考えれば、ぜひとも実現しなければならぬと思っています。これまでも不転の決意で取り組む

ことを申し上げており、その考えに変わりはありません。

○今福定住促進住宅について

質 今福定住促進住宅に関しては、松浦木造の家プロジェクトにより、大工など市内の業者に発注し、市内で調達可能なものは市内で調達するとしてありましたが、その状況についてお尋ねします。

都市計画課長 なるだけオール松浦でやろうをコンセプトに事業を進めています。状況としては、建築工事の元請は全て市内業者であり、大工、塗装などの工事は概ね100パーセント市内業者となっています。建築工事一棟当たりの資材等の市内受注率も約8割となっています。

質 現在までの出来上りの状況、28年度完成時の状況、入居状況について伺います。

都市計画課長 平成25年度に設計に着手し、26年度予算で住戸8戸、27年度予算で13戸を建設し、本年度は10戸が建設中です。29年度に2戸を建設すれば計画33戸全てが完了します。現在の入居率は100パーセントで、21世帯、62名が入居されております。

その他今福地域スポーツ施設整備と消防団員の確保対策について質問しました。